

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組 美術選択者
 教科担当者： 五郎丸 隆子
 使用教科書：（ 光村図書 美術2 ）

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】平次に修得した芸術表現の技法・可能性・歴史等についてさらに学び技術の向上と広く芸術を愛好する心構えを育成する
 【思考力、判断力、表現力等】さらなる芸術表現の可能性について考え、自らの表現に適した方法を判断し、手段を選択することができる
 【学びに向かう力、人間性等】他者の制作した芸術作品から主体的に感じ取ったことや考えたことを基にして学習活動に積極的に取り組む

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術Ⅰに引き続き、表現の方法、多様性などについて幅広く理解するとともに、技術知識の向上を図り、効果的に表現するための知識・能力を身に付け、さらなる表現について模索するようになる。	自他の作品の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創作活動に励み、表現を工夫する。自分なりの表現について模索し、様々な表現方法の中から自分に合った方法を見出し表現を楽しむことができるようになる。	主体的に幅広い表現活動に励み、生涯にわたり美術を愛好する心構えを育むとともに、感性を高める。周囲の生徒との活動の中で互いの表現の良いところを享受し、高めあう活動を目指す。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数			
		絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞								
1 学 期	鉛筆デッサン 【知識及び技能】 構図どり、形をとる（パス）、陰影表現の方法等について学習し、デッサンの基礎について復習し、今回の課題内について説明する。1年の静物デッサンで学んだ内容を生かし、さらに質感の違うモチーフを増やすことで、デッサン力の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 質感、質量、形状、色彩の異なるものを組み合わせる。構図どり、空間の切り取り方、それぞれのものの質感の違いを意識し、描き分けるよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 完成に向け細部の描写について描くことができているか、客観的な視点から自身の作品について観ることを教え、仕上げの方法について指導する。他者の作品を観ることで多様な表現方法について学ばせる。	・構図どり（エスキース） ・形をとる（パス） ・陰影表現の方法 ・デッサンの基礎についての復習 ・静物デッサンの基本 ・教科書、スケッチブック、デスク、鉛筆、練ゴム 等	○		○				○	○	○	18
	平面構成 【知識及び技能】 アクリル絵の具の特性や用途、使用方法についての注意点を復習。色彩の基本についての復習とトーン分類や配色について新たに学ばせ理解し画面の構成と色彩の構成に幅を持たせる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた構成要素を用いて選択した言葉についての画面を構成させる。筆や道具を使い、美しい画面の作り方を模索するよう指導。色のかさねについて工夫を凝らし、画面にメリハリをつけて構成するよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品を鑑賞することで、様々な表現方法について学ばせる。	・混色と配色 ・アクリル絵の具を使っての美しい色面着色の技術 ・抽象的な言葉で構成要素と色彩を使い表現する技術 ・トーン分類と配色について ・教科書、スケッチブック、アクリル絵具セット、鉛筆、練ゴム、ケント紙、マスキングテープ 等			○	○			○	○	○	20
2 学 期	切り絵 【知識及び技能】 切り絵の歴史・特性について学び、デザインカッターの使用方法について復習し、替え刃の仕方についても学ばせる。 【思考力、判断力、表現力等】 場所による彫り方の違いについて学び、道具を使うことで多様に作り出すことを自ら追求できるよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品全体の完成のさせ方など、細部の彫りについての技術指導を行う。他者の作品を鑑賞することで自身の表現の幅を広げる指導を行う。	・教科書、デザインカッター、カッターマット、型紙、色紙、ごみ箱等	○		○				○	○	○	8
	木彫 【知識及び技能】 彫刻の歴史、作業の一連の流れを理解させたうえで、彫刻刀の使い方について理解させ、オリジナルデザインにあふれたデザイン考案を促す。線彫り方法やレリーフの基本について学ばせ、表現したいものがより魅力的に彫刻できる方法を模索するよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 混色や色のかさねについて工夫を凝らし、画面にメリハリをつけて構成するよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品を鑑賞することで、自身の表現の幅を広げる機会を与え	・魅力的なデザインの考案 ・木彫レリーフについて ・彫刻刀の使い方の基本 ・素材について ・教科書、スケッチブック、鉛筆、練ゴム、マスキングテープ、彫刻刀、手板、木彫小箱 等	○	○	○				○	○	○	12

<p>木彫</p> <p>【知識及び技能】 彫刻の歴史、作業の一連の流れを理解させたうえで、彫刻刀の使い方について理解させ、オリジナルデザインにあふれたデザイン考案を促す。線彫り方法やレリーフの基本について学ばせ、表現したいものがより魅力的に彫刻できる方法を模索するよう指導する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 混色や色のかさねについて工夫を凝らし、画面にメリハリをつけて構成するよう指導する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品を鑑賞することで、自身の表現の幅を広げる機会を与える。</p> <p>3 学 期</p>	<p>・仕上げ剤(ニス塗)についての説明 ・仕上げの色の選択 ・塗りの丁寧さなど最後まで美しい表現で仕上げるように指導 ・教科書、スケッチブック、鉛筆、練ゴム、マスキングテープ、彫刻刀、手板、木彫小箱 等</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>		<p>【知識及び技能】やすりがけや仕上げの方法について学び、正しく理解し作品のし、上げ作業に取り組むことができる 【思考力、判断力、表現力等】彫刻刀を駆使し、自己の表現についての模索と創意工夫ができていく 【学びに向かう力、人間性等】主体的に感じ取ったことや考えたことを基にした制作活動に取り組もうとしている</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>12</p>
						<p>合 計</p> <p>70</p>